事業所名　つなぐる山中

作成日:　　8年　　8月　　日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
2	2	○事業所と地域のつきあい グループホームは知的密着型であり、地域とのつきあいが不可欠である。 その必要性を事業所内で浸透させることをが課題である。	今年度開催予定の「祭り」で、各スタッフがチラシ配りから当日まで様々な形で地域と交流する。	祭りの打ち合わせや準備、当日の担当など職員が役割を持ち行事に参加する。 地域密着型の役割を知り地域の方と交流を深める。	3ヶ月
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 身体拘束しないケアについては理解しているが、スピーチロックに関しては、説明不足が感じられるため、周知が必要である。	言葉遣いについては、誰もが不快でないように、また「座って」などは理由を添えることを理解し、実践できるようにする。	職員会議で不適切ケアや、声掛けの意見を出してもらい自己点検を行っていく。声掛けは相手の納得できるのもとし、理解を深めコミュニケーション能力を高める。	12ヶ月
38	16	○災害対策 避難所づくりの研修に行った際に、利用者はひの避難所では避難できない事を実感した。できるだけ事業所で避難したいが、グループ内の他施設で受入できるように連携が必要である。	グループ内の他施設に受入が何人可能であるかを確認し、受入時の利用者のADLなどの情報を共有できる方法を考慮する。	災害時にはグループ内の施設と連携が取れるよう依頼する。避難時には利用者のADLや既往歴が分かるようにカルテを持参するシュミレーションを実施する。	12ヶ月
4					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。